

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島メタル&マシンナリー 広製作所

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広白岳1丁目2番43号

(3) 業種

製鋼・製鋼圧延業

2 計画の期間

平成25年度を基準として、令和2年（2021年）～令和12年（2030年）までの10年間とする

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e) )				
	平成25年度 ( )	令和8年度 (2026年)	令和2年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)			令和12年度 (2030年)
エネルギー 起源CO2	108,653	103,220 (5.0)	36,897 66.0	47,132 56.6	100.0	100.0	103,220 5.0
非エネルギー 起源CO2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	108,653	103,220 (5.0)	36,897 66.0	47,137 56.6	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	新型コロナウイルスによる景気後退から生産量の大幅な減が影響している。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：**製品出荷数量(81,000t)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e) )				
	平成25年度 ( )	令和8年度 (2026年)	令和3年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)			
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	198.4	-100.0	201.7 -1.7	201.6 -1.6	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	新型コロナウイルスによる景気後退から生産量の大幅な減が影響している。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	1,000KL	製鋼電炉統合により、60t炉の操業へ変更、20t、15t、5tは休止
2	電気使用量の削減	該当操業による電気使用量を年0.7%削減する	・コンプレッサー・集塵機の統合によりロスを削減効率化 電気使用量削減を目指す
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	営業車の減車		出張は新幹線の移動とレンタカーに切替 営業車はハイブリッド車へ更新（長距離運行）
2	宅配便の集約		事業部単位の配送依頼を集約する事で削減
3	その他		車通勤者を公共交通機関・自転車通勤へシフトさせる

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。